ロードス島戦記

Record of Lodoss War
the Lady of Pharis

ロードス島戦記
ファリスの聖女Ⅰ
Record of Lodoss War
the Lady of Pharis
作画——山田章博
原作——水野 良
DRAGON COMICS

ファリスの聖女

I

原作 水野 良 作画 山田章博

ロードス島戦記

ファリスの聖女Ⅰ

Record of Lodoss War

the Lady of Pharis

MITHOLOGY
その始め巨人独りありき
世界たるフォーセリア
始源の巨人が命終(みょうじゅう)の時より
始まれり
肉は地に 血は海に
末期(まつご)の息は風に
孤独を嘆き憤る心は
炎と変じて熱と命を
もたらしたり
命は神々と生まれたらん
右足からは戦さの神(マイリー)
左足からは商いの神(チャ・ザ)
頭(こうべ)よりは知識の神(ラーダ)
胴よりは大地母神(マーファ)

MYTHOLOGY

その始め巨人独りありき

世界たるフォーセリア
始源の巨人が命終(みょうじゅう)の時より
始まれり

肉は地に 血は海に
末期(まつご)の息は風に
孤独を嘆き憤る心は
炎と変じて熱と命を
もたらしたり

命は神々と生まれたらん

右足からは戦(マイリー)さの神
左足からは商(チャ・ザ)いの神

頭(こうべ)よりは知識(ラーダ)の神
胴よりは大地母神(マーファ)

邪(よこしま)なる右手から暗黒神(ファラリス)
善き左手から光の至高神(ファリス)
体毛は草木(そうもく) 鱗は竜に

神々 天と地と海と
未だ整わざるを憂い
世界を三つに創れり

ひとつは精霊界
ひとつは物質界
その狭間に妖精界を

神々
天に名づくるものなく
地に呼ばうものなきを
憂い
生あるものを調(ととの)えたり

精霊と獣と妖精を

神々
天に名づくるものなく
地に呼ばうものなきを
憂い
生あるものを調(ととの)えたり
精霊と獣と妖精を
神々 天と地と海と
未だ整わざるを憂い
世界を三つに創れり
ひとつは精霊界
ひとつは物質界
その狭間に妖精界を
邪(よこしま)なる右手から暗黒神(ファラリス)
善き左手から光の至高神(ファリス)
体毛は草木(そうもく) 鱗は竜に

神々 和して
あまた創造
なしたれども
いつしか志違う

ひとたび不和を唱うれば
火の原を燎くが如し

しかして神々 光と闇に
袂を分かち相争うに
天は震うて星を落とし
海は裂けて水の底を
晒したり

牙あるものは牙
爪あるものは爪
雲を纏い風に騎り
雷を投げて合戦するも
久しく相持して決せず

神々 和して
あまた創造
なしたれども
いつしか志違(たが)う

ひとたび不和を唱うれば
火の原を燎(や)くが如し

しかして神々 光と闇に
袂(たもと)を分かち相争うに
天は震うて星を落とし
海は裂けて水の底を
晒(さら)したり

牙あるものは牙
爪あるものは爪
雲を纏(まと)い風に騎(の)り
雷(いかづち)を投げて合戦するも
久しく相持(あいじ)して決せず

ついに光より大地母神(マーファ)
闇より破壊の神(カーディス)
進み出でて一騎打ち
するも
且(か)つ両雄倶(とも)には立たず

アレクラスト大陸の
南海に臨み
相討ちして果てぬ

破壊の神(カーディス)は
今際(いまわ)の際(きわ)に大地を呪い
大地母神(マーファ)は
呪われし地を大陸より
切って離し南海の孤島と作(な)す

神々の大乱
かくて終結す

神の肉の身たり得た
時代の終わりと共に

ついに光より大地母神（マーファ）
闇より破壊の神（カーディス）
進み出でて一騎打ち
するも
且（か）つ両雄倶（とも）には立たず
アレクラスト大陸の
南海に臨み
相討ちして果てぬ
破壊の神（カーディス）は
今際（いまわ）の際（きわ）に大地を呪い
大地母神（マーファ）は
呪われし地を大陸より
切って離し南海の孤島と作（な）す
神々の大乱
かくて終結す
神の肉の身たり得た
時代の終わりと共に

永き静謐の時経て
人 出でぬ

神の血継ぎし人々は
魔法力をもって
王国を築きたり

国の名を
カストゥール

魔法こそ法

魔法に長けきは
王たるが理

都を宙に浮かべ
成竜すら僕となす

魔法力に劣りたる者は
市中を逐われ
剣ひとふりを頼みに
妖魔猛獣の荒野で
蛮族となれり

CHRONOLOGY

永き静謐の時経て
人 出でぬ

神の血継ぎし人々は
魔法力をもって
王国を築きたり

国の名を
カストゥール

魔法こそ法

魔法に長けきは
王たるが理

都を宙に浮かべ
成竜すら僕となす

魔法力に劣りたる者は
市中を逐われ
剣ひとふりを頼みに
妖魔猛獣の荒野で
蛮族となれり

天長地久は
人の身にあたらず
やがて年々の内に
栄華も夢と消ゆ

智者の勉励すると
いえども
聖学にあらざれば
功業建たず
ために遍く魔力の
氾濫をゆるす

蛮族 都を攻め
ついに王国
亡びたり

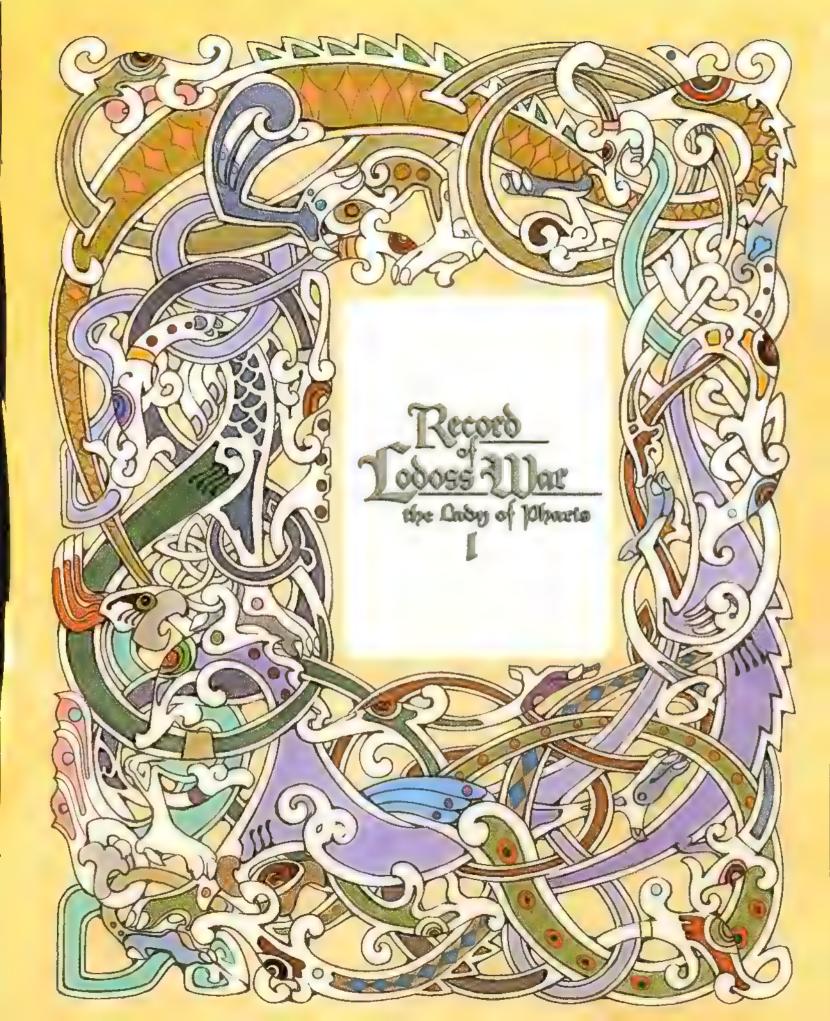
魔法は時代の舞台を
辞し
わずかに残影を
留むるといえども
剣 これを凌駕す

天長地久は
人の身にあたらず
やがて年々の内に
栄華も夢と消ゆ
智者の勉励すると
いえども
聖学にあらざれば
功業建たず
ために遍く魔力の
氾濫をゆるす
蛮族 都を攻め
ついに王国
亡びたり
魔法は時代の舞台を
辞し
わずかに残影を
留むるといえども
剣 これを凌駕す

いざ聞け
かくて伝説と歴史の狭間より
数多の歌謡は生まれ出でぬ
愛(め)でよ
いかばかり哀音に満ちた
古歌なりとも

そは神々の大戦の申し子
我らが故郷
呪われしロードスが地の歌なれば

STAFF
BOOK DESIGN YUKARI KODAIRA+
PAPER STONE
EDITORIAL DESK TAKEO MATSUKI
EDITOR SATOKO IDO

Record of Lodoss War
the Lady of Pharis
I

時はゆく
いな過ぎゆくは我らかな

わが歌よ　なれを歌い聞かせし友も
星めぐり　残れるは
いささかの灰と名のみなる

今はとて　なれを歌うわらべなく
花を盛りの乙女にも歌われじ

さらば　我のみ調べも高く　かなでいでぬ

いかばかり哀音に満ちた
古歌なりとも

そは神々の大戦の申し子我らが故郷
呪われしロードスが地の歌なれば

汝は知るや？
ロードス島戦史に刻まれし
武勲詩のくさぐさを

汝は知るや？
後の世に「英雄戦争」と謳われし
二傑士の壮烈を

汝は知るや？
後の世に「英雄戦争」と謳われし
二傑士の壮烈を

RAIDEN
FLAIM
ALANIA
VALIS
KANON
MOSS
MARMO
ロードス島南西部　モス

RAIDEN
FLAIM
ALANIA
VALIS
KANON
MOSS
MARMO
ロードス島南西部　モス
そしてまた汝は知るや？
語られざる六英雄と魔神王
その戦いの物語を
魔神…

そしてまた汝は知るや？
語られさる六英雄と魔神王
その戦いの物語を
魔神…

魔神よ
どうしたのだ
なぜ現れん？
お前の為に宴を
用意したぞ
…早く現れて
この血の聖餐を
受けてくれ
……
おのれ…
おのれ　あの
魔法使いめが!!
わしを
だましおったな!?

何だ…？
何が封印されし
魔神だ！
何が「最も深き迷宮」
だ！
魔神など
おらぬわ!!

うれしいのだな？
暗黒神ファラリスと
破壊の女神
カーディスの祝福を
受けた者よ
わしの望みを
叶えてくれるな？
うれしいか？
そうか…
お前か

わしはこの
ロードスが欲しい
いや…
世界をだ！
わしはな
終わらんぞ
ん…
ドクン
こんな片田舎の
王などで
終わりはせん！

お…

ギャアアアア
お…
ゴポ!

ギィ!!
ゴポ!?

!?
!
化け物がァ!!
……ぐッ!

ギャ…!

ドカカッ
ドカカ

ガァ
ガァッ

ブルルッ
ナゥ…
グルル‥

お逃げなさい
…早く！

我は
至高神ファリスの
剣を帯びし僕
神官戦士の長
フラウス！
神聖なる
御名において
悪しき知と力と
そのあらわれの
全てを討たん!!
ザァ!!

ド…

ハア
ド!
ハア
ハア
ハア
ハア
ドォ!

…魔獣!
ガルル…
ガァ!
!?

し…
しまった！
ゴト
ウ…
上位魔神か!?
まさか…
こんな所に
いようとは…
助けが
欲しいか？

今夜の酒に
つきあう気が
あるんなら
考えんでも
ないぞ
あなたたち…
は？
ファリスの
神官戦士だよ
ベルド
遊び相手にゃ
向かんと
思うがね
そうか…
それじゃ
しようがない

その大海の一滴を
我に使役なさしめよ
奇跡の源
魔術の根源たるマナ
そちらさんと
遊んでもらおう
神聖なる御名の
遍く天地において
祝福されざるものよ
…

汝の拠るべき世界へ
疾く去れかし！
マナよ！
鎧鉾の強き
護りとならん！

凄い！

手出しは
無用だよ
神聖なる…
そんなことをして
後で叱られるのは
私たちだ
楽しんで
いるのさ
奴は…

電撃網(ライトニング・バインド)!?
誰が？

ウォート
お見事でした
手出しは無用と言っておいたはずだぞ！
私は…
いや
済まん
ご助勢感謝します
私はファリスの神官戦士長フラウス
あなた方は…いずれ名のある武人とお見受けしましたが…
ベルド

名前はベルド
流れの傭兵さ
そっちは相棒の
魔術師ウォートだ
魔神の首を
どうなさる
おつもり？
カノンあたりへ
持って行けば
高く売れる
賞金が
かかってるん
だよ
魔神の
首なら
ファリス神殿も
買います
ご免だな
ファリスの値じゃ
割が合わん
行くぞ
ウォート
待って！
それなら
あなたがたを
傭兵として
雇いましょう
雇い主は
ファリス神殿
でも私の部下として
忠誠は私に誓って
もらいます
魔神の首よりは
いい報酬を
お約束できると
思うわ
いかが？

どうする
ウォート？
もし
あんたが
その気なら
私は反対
せんよ
決まったわね？
ベルド…
憶えておこう

帰るのか？
ヴァリスの神殿へ
ええ
諸国の様子を
報告にね
「最も深き迷宮」から
魔神が解き放たれて
もう一年…
私が巡見に遣わされた
この一年の間に
いくつの村や町が滅び
そして何人の
人が死んだか
…
それよりも
称えるべきは
「最も深き迷宮」の
最も深き場所にある
暗黒の玉座を
探しあてた彼の
執念だろうね

ロードスを食い荒らしているのは魔神だけじゃないわ
魔神に襲われ国力を殺がれたわずかばかりの領土に幾つの国が群がっていることか…
モスの小公国スカードの太守だそうだな？魔神を封印から解いたのは
魔術の素人にそんなことができるのか知らんが
簡単だよ
暗黒の玉座で親しき者の血を流せばいい
スカードのブルーク公が行方知れずになった夜公の娘も消えている
きのうは幾人今日は何人死にましたなんて…
誰がしたことかなんて詮議はもうたくさん！

それを見回る
だけの旅
なんか
もう
ご免だわ
ヴァリスの王都 ロイド
――――ファリス神殿
ジェナート様！
フラウス！
巡見ご苦労
よく無事で
戻った！
どうだ
諸国の様子は？

そうか…
その人たちは？
強い味方です
私の！
そうですか…
フラウスを
頼みます
いや…あ
ああ…
着替えていきなさい
ああそれからフラウス！
神官衣に魔神の血がついている
大司祭様がお嫌いになるだろう
フラウス
疲れているところをすまんが大司祭様がお待ちかねだ
はい！

これは
私の誇りです
フラウスです
ただいま戻って参りました
ご苦労だった
入りなさい
失礼いたします

誰だ？
その者たちは
傭兵かね？
ん？
…
はい
まあよい
お前を訪ねて
見えたかたが
ある
ヴァリスの
聖騎士隊長
ファーンと
申します
ご勇名は王宮にも
聞こえております
フラウス殿

ヴァリス
聖騎士隊長…
ファーン様
…？
では いよいよ
ヴァリスから
魔神討伐の兵を!?
ああ
…いえ
残念
ながら

この二人なら
心配はご無用です
どうぞ
お話を…
昨夜のこと
でした

おお
これは…
聖騎士隊長が
こんな夜更けに
宝物殿へ何の
ご用ですかな？
なッ…！
何をされる!?

ドサッ
聖なる武具が!?

聖なる鎧
剣
盾
この三つは建国王が所持されていた神聖魔法の護り強き武具
ヴァリスの宝です
それが
あなたに盗まれたと？
ドッペルゲンガーだな
下位魔神の一種族だよ
奴らは化けるのが得意でね
神聖魔法に護られた武具とくりゃあ
魔神どもにゃ一等厄介な代物だろうよ
ウォート
あなたの魔術で魔神たちが今どこにいるのかわからないかしら？
神殿内で妙な幻術は使ってもらいたくないものだな
何に祈るのか知らんが…

ファーン様の
お供をして
聖なる武具を
奪い返して
参ります
わかりました
では
大司祭様
そして　無事
取り戻すことが
できましたら
私は
国王陛下に
魔神討伐軍を
出していただける
よう
上申する
つもりです
その時は
大司祭様
「聖戦」の発動も
辞さぬお覚悟を…

ご免なさい
ベルド
あなたたちには
申し訳ないことを
したわ
お前さんに
謝ってもらう
義理はないさ
間もなく
日が落ちる
最高司祭が
あれで
神官戦士長が
小娘か
ファリスの
人手不足も
よくよくだな

ヤッ
今宵は町で宿をとり明朝　発つことにしましょう
お城へは……？
戻られないのですか？
国王陛下じきじきの密命です
それに王宮内には私を疑っている者もある
聖騎士として城門を出ることはできんのです

宮仕えの身の悲しさ…か
城を持たぬ俺にはわからんという訳だ

!!
離れろ！

探知の魔法は
失敗だ
何だ
…今のは？
おそらく
魔神王（デーモンロード）だよ
上位魔神（グレーターデーモン）？
いや…
お手上げだな
ウォートの魔術が効かんということなら
これは強力だぞ
とてつもない魔力を感じる

賢者の学院に
秘蔵されている
物見の水晶なら
あるいは…
たしかヴァリスの
宮廷魔術師も
そこで学んだと
聞いたことがある
魔術師の
養成所です
賢者の
学院？
なるほど
聖騎士殿は
学がおありだ
二百年にわたって
古代カストゥール王国期の
失われた魔法を復活させ
新しい魔法と
偉大な魔術師を
生み出している
古代遺跡から
発掘された
魔法の品々も
所蔵しているとか

その賢者の学院は
どこにあるのかしら？
北だ アラニアの王都 アランにある
魔神どもはモスに向かっているだろうから 少々遠回りになるがね
ここは魔術師殿に従おう
確かに遠回りにはなるだろうが
モスは内戦が続いているし 山中は魔神たちの巣だ
あてもなく敵の領内をうろつくのは賢明じゃない
明朝 アランに向かいます

モス地方　ハイランド公国
オオオオ
○○○
オオオ
いかが
なされました？
殿下
うん…
ああ
あの声で
ございますか？

竜が鳴く
…か
あのあたりには
古代より金色の
竜が棲んで
おりましてな
その古竜の
鳴き声で
ございましょう
魔神が このロードスに
放たれた時さえ
鳴かなかった竜がな…
交替だ
ああ

滅多なことを
言うな
嫌な鳴き方
しやがるな
妙なことでも
起きなきゃ
いいが…
おい！
カッ
それでなくても
隊の中には
怯えている者が…
ザッ
ザッ
止まれ!!
何者か！
どこへ
行く!?
ここよりは
マイセン竜太子殿下が
ご領内ぞ！

ぬ…
抜くか!?
いずれの騎士かは
知らぬが
もし軍偵と
あらば
もし他国よりの
御使者なら
親書を示されよ！
見ろ！
あの甲冑…
…ヴァリスの？

KAIDEN
FLAIM
ALANIA
VALIS
KANON
MOSS
MARMO
ロードス島北東部
アラニアの王都　アラン
ずいぶん　のんびり
やってるんだな
ここの連中は
北国
だからね
南からの
魔神の侵攻も
まだここまでは
及んでいないん
だろう
あれが
賢者の学院？
そうだ

あんたたちはここで
待っててくれ
私が行ってこよう
いえ
私も一緒に…
戦いのために
魔術は使わんと
いうのが
学院の方針でね
加勢を頼みたいの
だろうが
無駄だ
ウォートは
特別 変わり者
なんだよ
魔術を剣と
同じにしか
思っちゃおらん
まあ
そういう訳さ
何とか
物見の水晶球を
手に入れてくるよ
お願い
する

殿下！
魔神に奪われた
聖なる武具
一刻も早く
取り戻したい
もう一度
申してみよ
…は！
我国の防衛線を
…武力により
突破！
ヴァリスの
聖騎士一名
…数頭の魔神を
伴い…

殿下！
ヴァリスに開戦の意志のあるや否やを確かめねばならん！
報告が事実なら聖騎士による領内侵犯は宣戦布告も同様！
列侯との小競り合いも面倒だが…
ヴァリスが相手では報復も容易じゃないぞ！
急ぎ使者を立てよ！
ヴァリスへ送る！
国境守備隊は
…全滅！

平和ね
ここは…
この町を見ていると
まるで魔神のことなんか嘘のよう
ロードスで最も古い町だ
この町並みはドワーフたちが造ったと聞いているがもう何百年も昔から姿を変えていないんだろう
こんな平和がいつかこの世界にも来るのかしら…
残念だが
そいつぁもうちょっと先のようだな

風に血が
混じって
きやがった
そぉら…
!

どうした!?
何だ!?
ボト
ボト
ボト。

はい
ニース様
ただいま
アランから
使いが…
ドワーフ?
それで
南のドワーフの
王だと
いうのですか?

あなたはすぐ
ここのドワーフたちに
知らせて下さい
わかりました
司祭長様は
今ご不在です
アランへは
私が
参りましょう
はい

お知らせ
下すったのは
あなたですね？
参られよ
アランまで
同道しよう

ガシャ
ガシャ
ウォート様？

学長
ウォート様が お見えに なりました
どうぞ こちらへ
ラルカス学長が お待ちかねです
入りたまえ
私は これで…
PA!
ウォート!
あの 若者は?

うん
バグナードか
……
すでに賢者の称号を
戴いていても
おかしくないの
だがな
妙な魔法にさえ
興味を
持たなければ
もっとも君になら
学長の座など
すぐに譲っても
かまわんがね
やれやれ
もったいないことだ
それほどの才を持ちながら
傭兵暮らしの方が
性に合っていると
言うのか？
その話は…
冗談じゃない
年端もいかない娘に
アゴでこき使われて
いますよ
物見の水晶球で
知れぬことなど
このロードスには
ないさ
何でも
お見通しだ
ファリスの
神官だそうだな？

実は…
わかっている
だが君も
知らん訳では
なかろう
学院は
戦いに関与することも
またそのために
魔法の品を貸与
することもせん
古代魔法王国
カストゥールが
滅亡した
理由ゆえにな
とは言え…
賢者の学院は
暗黒魔法が
世界を
蹂躙することも
認めておらん
私には一時
物見の水晶球を
どこへしまいこんだか
忘れてしまうという
不名誉に甘んずる
覚悟はあるぞ
ラルカス大兄…

王様!
皆は無事か!?
東の回廊に避難した者は別の一軍の奇襲を受けて…
謁見の間は!?
辛うじて!
女子供をかくまえ!
負傷者は奥へ!!
まだ武器を取って闘える者はわしに続け!
駄目だ
囲まれている
王!
王様!

気がついた
のね！
フレーベ王

マーファ神殿の
者です
傷ついたドワーフが
運びこまれたと
いうのは
こちらでしょうか？
コンコン
ベルド
お願い
どうして
ここが？
そこに…
報せて
下すった方が
あるのです

ドワーフは？
いえ…
凄い生命力
だわ
生きているのが
不思議なくらい
ファリスの
…
癒しが
効いたのでしょう
わしは
国を棄てた
喋りたく
ないそうだ
あなたは
石の王国の
王だそうですね？
……
何があったのか
教えてもらえ
ませんか？

王たる
このわしが
国を
棄てたのだ

誰かある!?

!?
ないのか…
生きている者は
誰も…
ヴルル…
貴様かァ
!!!!!
そうか…
貴様か…

犬死には無用ぞ
ノレーヘE
何!?
わしは…
待て！
まッ…

星霜を経た石の王国が
魔神どもの急襲に幾日ももたなかった
守ることができなかったのだ
そしてわしはまだ生き残っている者のおるやも知れぬあの国を
気づいた時にはこの町の外れに立っていた
これで魔神たちの狙いがわかりました
ありがとう
よく話して下さったわね
これは最早わしたちドワーフ族のみの争いではなくなったのだ
そこな戦士よく聞け
誇り高きドワーフがなぜ恥を話したと思う？
謎かけは勘弁してもらいたいものだな

ロードスの地下を走る
無数の洞穴と
繋っています
石の王国を貫く
大隧道は
これで魔神たちは
いつでも
地上の望む所へ
現れると…
つまり…
そして洞穴は
その口を地上に
開いているのです
ええ
私たちは
地下に広がる
もうひとつのロードスを
征服されてしまった
のです

いけねえ
雲行きがおかしいや
ひと荒れ来るぜこいつぁ
ありゃあスカードのお城辺りだ
きっとあすこに巣くってる魔神が雲を呼んでるんだ
泣き言言ってんじゃねえ
ここんとこ戦続きで通行証も貰ってねえんだぞ
近道しようなんて言うからよ
だ…だから言わねえこっちゃねぇてんだ
山越えしてドラゴンスケールの南へ出んのが一等早えんだよ
ぐずぐず言ってねえで馬ァ急がせねえと
祭りに間に合わなくなっちまわァ！
ドラゴンブレスから俺たちの村までまっとうに街道を歩いてたら
兵隊にとっ捕まって何日足止め喰うかわかりゃしねぇ

ゴロゴロゴロ
ゴロゴロゴロ

バサ
バサ
バサ
ガルル
ガ‥ル
!

バサ
バサ
バサ
グルル

ファサ‥
ガル？
ガッ
ガッ

ガッ

どう？
まるで岩壁のような瘴気だったがね
どうにか場所だけは
察しがついたよ
さすが
聖騎士だ
よく耐えた
ドサッ
どこだ？
スカード公国
太守の城
今は
魔神どもの居城に
成り果てている

わしも行こう
あなたには静養が必要です
心配はいらぬよ マーファの司祭
魔神どもの面を見れば 百年の疲れも 一時に吹き飛んでしまうだろうて
ズッ!
フレーベ王!
わしの戦斧が…
ズ
行くぞ!
怪我人は足手まといだ
ドワーフがこのくらいでのびちまうとはな…
ベルド…
なるほどこいつは静養がいる
ドッ…

ロードスの大地が
魔神たちの邪気に
冒されつつあることを
大地母神は
お見逃しに
ならないでしょう

マーファにも
神官戦士団が
あります

きっと
いずれかの戦場で
お会いできるはず

それまで
どうか
ご無事で…

あなたも

ニース

ク…
ハハハ…

ズォ…

ゴフ..
ゴ!!..

奇跡の源
魔術の根源たるマナ
半睡せしこの者の四肢五体の力を開放せよ
流れる血とともに闘士の肉体を馳せめぐりて眠れる力を醒まさん
終わったか？
いいよ

キ!
よぉし

ハッ！

やっぱり待ち伏せていたか
そうじゃないかと思っていたよ
思ってたならなぜ言わん!?
言ったところで気にはせんだろう？
さて…
お集まりのようだ
待たせてはすまんな
行くか

フォルツ！

魔術の源たる
マナは
我が言葉をもって
命ず
伸びたるものには節を！
汝その形を保つこと
能わず！

この大広間を抜けて中庭に出たら正面の奥だ！
聖なる武具は太守の間だ！
魔将が護っている！
そいつの賞金首でファリス神殿がつぶれるぐらいの金がふんだくれる
魔将の首は残しておいてくれ！
下位魔神との戦いはなるだけ避けて力を残せ！
よろしいか!?
はぐれた場合は太守の間で落ち合う！

魔神王を
倒したらね！
神殿は
お金で買えない
最高の栄誉を
贈るわ！
栄誉なんぞ
聖騎士に
くれてやる！
バキバキ
ボキ！
残念ね
ベルド
あなたが
ファリスの神官戦士に
なってくださったら
こんなに力強いことは
ないのに

扉を封印
するぞ！
急げ！
俺に神様の
僕に
なれとさ
どう思うよ
え？
マナを使役せる者は
命ず
汝黙してその口を
開くことなかれ
"カァマ"の音に
応ずるのみ

そういうこと
だったか…
ヴァリス聖王宮の
宝物殿で
保管吏を殺し
聖なる三種の
武具を奪った
貴様が最初に
盗んだのが
私の姿だったとはな…
ゴロゴロ
ベルド
魔将はあんたに
譲ろう
だが
ここは…

こっちへ
太守の間に通じる隠し階段がある
…だそうだ
私にカタをつけさせてもらう
ギリッ！
神聖王国ヴァリスの聖騎士隊長ファーン！
参る！

ァーン!!
ザ!

行くぞ！

ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ..
ハァ
ハァ

ドサ

ガコッ
どうやら
魔神の伏兵は
いないようね…？
よっぽど
自信が
あるのさ
太守の間が
俺たちの墓場と
いう訳だ
…にしても
ウォート
あなたこの城の
秘密には
ずいぶん
詳しいようだ
けど？
急ごう！
勝手知ったる
他人の何とか
…だよ

お待ちしていた
神官戦士長殿
はッ!?

魔神の席捲を許さぬという点で
私とあなた方の目的は一致しているはずだがフラウス殿？
あなたは？
名はない
ロードスの未来を憂える者と思っていただこう
勝手にしろ

上位魔神以上の奴には 初めてお目にかかるが
凄いな ゾクゾクする
何という邪気 邪念… そして魂の悴さ
魔神王は… 眼の前にいる この魔神以上だと いうのか…
わかってるよ
忘れないで ベルド
目的は 聖なる武具を 奪い返すこと…
侮らぬ方が いい
暗黒魔法の 使い手だ

援護しよう
向こうも魔法を使ってくる
来るぞ
炎の呪文だ!
神聖至高なるファリスの御名において
具来せよ熾光の障壁!

地獄の業火は
我等が肉体を
損なうこと
能わず!!
魔力の根源たる
マナよ!
刃とあらゆる
力の前に
見えざる楯と
ならん!

効かんのか!?

あんたに
暗黒魔法が
判るとはね
私も驚いているよ
さすが…
と言うべきかな？
神聖魔法の護りを
もってしても
炎があれほどの
威力とは
下がれ！
炎で応手する！
万能なるマナよ
破壊の炎と
化れ
サラマンダーの脚
エフリートの吐息
始源の巨人の噴怒…

ヴァナ
ヴェ
フレイム
イグロルス！
魔術の根源
奇跡の源たる
マナ！
魔炎と変じて
刃に宿らん！

そいつには
魔法の武器しか
効かん！
取れ!!
ベルド！

斬り込む隙がない…!

ガラ…

ム!!
あの呪文!?
……
ほう?
石化の呪い
耐えてみせたか…
まったく
手こずらせ
やがる
おしまいか?
おしまいかよ?

使え！
ベルド
ファーン!?
バシ！

見事だ
ベルド
!

貴様も…
無事なところを
見ると
仇討ちは
済ませて
来たらしいな？
感謝する
これで汚名を
そそぐことが
出来た
にしても
さすがこいつは
聖剣だよ
魔神どもが
恐れる訳…
ドン

ベルドー!
くたばりぞこないが…
ボン!

見ろ
待て！
ベルド！
バキ
メキャ！
宙空の住者
星々の子らよ
パキン

マナはこの地に
汝らを招かん
疾く集い来たりて
我が敵を撃つ
礎となれ

マナはこの地に
汝らを招かん
疾く集い来たりて
我が敵を撃つ
何の音――？

何の音…？

くたばったか？
さすがにね……
立てるか
ベルド？
ア…魔将の首……
忘れるなよ
ファーン!?
ああ…いや
大丈夫だ

咬まれたのね？
毒だわ…
どうだ？
妙だな
猫の子一匹
見当たらねえ
お…おい
もう引っ返そうや
みんな
さっきの変な
火の球で
やられちまったんだよ
バッカ野郎！
ここは魔神の巣
なんだぞ！
もし手負いの奴が
残っててみろ
カサ…
俺たちの村ァ
皆殺しだ！

わっ!
私はファリスの神官戦士です
待って！
この人たちも怪しい者ではありません
まッ魔神の首だぜ！
ファ…ファリスの！
みッ…みッ見なよファイロ
あれ
お願いします
近くに村があるのなら連れて行ってください
怪我人が
いるのです

ギリッ
RAIDEN
FLAIM
ALANIA
VALIS
KANON
MOSS
MARMO
ギャイ
神聖王国ヴァリスの王都
ロイドの王宮
ハイランドの…？
マイセン公の
親書を携えて
入城！
申し上げます！
ただ今
ハイランド公国の
使者一名

KAIDEN
FLAIM
ALANIA
VALIS
KANON
MOSS
MARMO
神聖王国ヴァリスの王都
ロイドの王宮
陛下！
ん？
先程 一羽の鷹が前庭に 迷い込み
ご覧になった 宮廷司祭殿が ファリスの神聖魔法に 導かれたものに 違いないと…
申し上げます！
ただ今 ハイランド公国の 使者一名
マイセン公の 親書を携えて 入城！
ハイランドの …？
よろしい 会おう
主計総監を 謁見の間へ
は！
もうひとつ ご報告が…
何か？
足にこの手紙が くくり付けて ございました

先程
一羽の鷹が前庭に
迷い込み
ご覧になった
宮廷司祭殿が
ファリスの神聖魔法に
導かれたものに
違いないと…
ん?
陛下!
足にこの手紙が
くくり付けて
ございました
何か?
もうひとつ
ご報告が…
主計総監を
謁見の間へ
よろしい
会おう
は!

!!
ハッ!
「ヴァリス神聖王陛下
ご下命の件
無事遂行…
うむ

うむ
「ヴァリス神聖王陛下
ご下命の件
無事遂行…
なお戦傷者二名あり
回復を待って
出立致したし
聖なる武具を
取り返したか…
無事でおれよ
ファーン

無事でおれよ
ファーン
なお戦傷者二名あり
回復を待って
出立致したし
聖なる武具を
取り返したか…

モスの難民たちが
城下に入ったと？
はい
もっともその大方は
モスの内乱を
避けてのことらしゅう
ございますが…
ふうむ
やはり
受け入れねば
なるまいな
公王の玉座争いか
……
ドラコンの名も
冠せられん小国では
魔神に頼ろうと
考えても無理からぬこと
という訳だな

魔神どもの動きはどうだ？
まだ　モスの山中から出る気配はございません
まったく大変なことをしてくれたものだ
せっかく封印されていたものを…

マーファの地方神殿は
難民の救済を組織的に
行っているとか…
信徒からも
わがファリス神殿の
対応を迫る声が
上がっています
何か手を
打たねば
なりますまい
神官戦士団
かね?
ラファティ!
は!
あの神官戦士長
名を何と
言ったか?

何か手を打たねばなりますまい
ラファティ!
は!
マーファの地方神殿は難民の救済を組織的に行っているとか…
信徒からもわがファリス神殿の対応を迫る声が上がっています
ドッ
ビュ!
ドッ!
神官戦士団かね?
ファリスに戦争を始めろと…?
あれはいかん
あれでは……まるで軍隊だ
戦いを武器だけに頼ってはだめ!
足元に気を配ってさえいれば今の体落としは喰わなかったわ
次!
は!
あの神官戦士長名を何と言ったか?
大司祭様
フラウスと…

あれでは……
まるで軍隊だ
あれはいかん
ファリスに戦争を始めろと…？
次！
は！
足元に気を配ってさえいれば今の体落としは喰わなかったわ
戦いを武器だけに頼ってはだめ！
大司祭様
フラウスと…

とうであろう
神官戦士長
ノフウスを
諸国巡見の旅に
出しては？
マーファやマイリーに
後れをとったことにも
ならぬし
民も承服して
くれよう
良きおはからい
かと…
大司祭様
送り出して
やるがよい

とうてあろう
神官戦士長 ノッウスを 諸国巡見の旅に 出しては？
マーファやマイリーに 後れをとったことにも ならぬし
民も承服して くれよう
良きおはからい かと… 大司祭様
送り出して やるがよい
できるだけ 賑やかにな

できるだけ
賑やかにな

ガッ
ザッ
ボト!
ポト

おねえちゃん
ゴト!
…神官様？
ファリスの神官様だね？
その服 見たことあるよ
僕の服は …ほら
こんなに ボロボロに なっちゃった
ああ 熱いなあ
体が灼ける みたいだ
僕の家にも やってきて 火を吐いたんだ
魔神がね 村を襲って 村長さんや 隣のセルジを 殺しちゃったんだよ

ごめんね
ごめんね…
熱かったなあ

ギャアアアア
ガッ
ゴン!!
ドザザ
パチッ
ザシャ…

夢を見たのか？
あ…
ええ
どう？ベルド
傷は痛む？
魔神の野郎にドテッ腹へ剣をブッこまれたんだぞ
痛くてワンワン泣いちまう
くすっ
そうだ笑ってろ
女の仏頂面なんざ見たかない
ファーンのやつはどうした？
ウォートが解毒の魔法をかけてくれたから
それに　村の人がとてもいいお薬を下さったの
私　階下へ行ってお湯をもらって来ます

そうか
……
じゃあ　しばらく
あっちへ行ってろ
少し眠る
わかったわ
何かあったら
呼んでね？
ああ
ぱたん
よし…
あるある
よォ
神官さまァ

変わりないよ
明日には
起きられるだろう
あの　でっかい人は
どうかね？
ファーンは？
ありがとう
あなたがたが
ここへ連れてきて
下さらなかったら
どうなっていたか…
しかし
たまげたよなァ
あの城は長いこと
魔神の巣に
なってて誰も
近づかなかったのさ
まあ！
こんな所に
いらっしゃった
こりゃ
村長さんの奥さま
お早う
ごぜえます
その城から
あんたらが魔神の
首ブラ下げて
出てきたもんねえ
お祭り
…？
今夜はいい
お祭りに
なりそうね？

ありがとう ございます
でもこれ以上の ご迷惑は…
さ　フラウスさんも こちらへいらっしゃい
おいしいお茶を いれたから
鏡の森へね 一年の収穫を 届けるんですよ
堅い挨拶は抜き
ゆっくりお風呂を 使って着替えて…
そうそう私が 娘時分に作った 服が出てきたのよ 似合うと思うわ
それから お喋りして 食事をして ……ね？
すみません
それとも
ファリスの神官は くつろいじゃいけない 規則でも？

ほぉら
似合った！
思った通り
だわ
鏡の森
…か

鏡の森
…か
ほぉら
似合った！
思った通り
だわ
ありがとう
私…
こんなにして
いただいて
……
ご苦労
なすったんでしょう？
まだ娘さん
なのにねぇ

ありがとう
私…
こんなにして
いただいて
……
ご苦労
なすったんでしょう？
まだ娘さん
なのにねぇ

面を上げられよ
ヴァリス王である
ハイランドの御使者か
は！
マイセン公からの御親書の旨承った
…が
我がヴァリスの聖騎士が武力をもって貴国領内に侵入した由誤解である

ハイランドの御使者か
ヴァリス王である
面を上げられよ
は!
マイセン公からの御親書の旨承った
…が
我がヴァリスの聖騎士が武力をもって貴国領内に侵入した由誤解である
ましてや魔神と結託するなどあり得ぬこと
この中にはファーンを疑っている者もあろう
皆も聞くがよい
疑いをかけられている聖騎士隊長ファーンはその任に恥じぬ清冽の騎士
陛下!
そのこと他国に知られては…
かまわぬ
実は先頃城内の宝物殿より我が国の至宝三種の神聖武具が盗み去られたのだ
今しがた自らの嫌疑を晴らす為武具探索の旅に出たファーンより
無事奪回したと報せがあった
恐らくは貴国と我が国の間に誤解を生ぜしめ
互いに争わせんとの魔神の謀であろう

皆も聞くが
よい
この中には
ファーンを
疑っている者も
あろう
陛下！
そのこと
他国に
知られては…
疑いをかけられている
聖騎士隊長ファーンは
その任に恥じぬ
清冽の騎士
かまわぬ
実は先頃
城内の宝物殿より
我が国の至宝
三種の神聖武具が
盗み去られたのだ
ましてや
魔神と結託するなど
あり得ぬこと
互いに争わせんとの
魔神の謀であろう
恐らくは
貴国と我が国の間に
誤解を生ぜしめ
今しがた自らの
嫌疑を晴らす為
武具探索の旅に出た
ファーンより
無事奪回したと
報せがあった

そなたも騎士の叙勲を受けた者なら
帰って マイセン公に お伝え願いたい
ハッ!
我が恥を話した訳がおわかりいただけような?
誤解の段はこの老骨が自ら貴国をお訪ねして謝罪すると…
陛下!
のう 騎士殿…
くれぐれも早まることなきように
よい
もう決心したことだ
後事はファリス神殿と宮廷司祭殿に託す

国同士
争うている
時では
ないのだ
我々
人間同士
未だモスに
とどまっている
魔神どもの脅威も
月日をおかず
ロードス全土の
ものとなろう
そうは
思われぬか？
ま…
まことに
…！
ゴ…ゴ…ゴ
ゴ

ハア
ハア
ハア
ハア
ハア
ハア

ズ…
ピチャ!!

賑やかだな
……
しかし
大したものだ
なかなか寝つかれ
なくてね
明日は
ヴァリスに向けて
発つと思ったら
どうだ
具合は？

あれだけの深手を負いながら
まだあんなバカ騒ぎができる力を残しているとは…
笑っていいのかね？
？
いや… 聖騎士殿は本気なのか冗談なのかよくわからなくてね
何と言えばいい？
ベルドに聞いてみたらどうだ？
タチの悪い冗談ならいくらでも仕込んでくれるよ
アー!!
いやとは言わせん 来い!!
いッいや…
捕まえたぞ
さあ　こっちへ来やがれ 人生の楽しみを半分しか知らん堅物野郎！
もう半分を教えてやる！

見違えたよ
どこのお姫様かと思った
女に見えて？
ギ!!
フラウス…
もうすっかり女の子には見えないんだと思ってた
なぜ？
よかった
あんまり綺麗なんできっと腰をぬかすよ
ならベルドの所へ行ってごらん
来る日も　来る日も怖い顔をして魔神と闘って返り血を浴びて…

ほら
ベルドと
ファーンを
見て
いずれ
ロードスになくては
ならない人に
なっていくの
まるで二人の
若い王…
彼らは
みんなのもの
だわ
ありがとう
でも
行けない
彼らは
英雄だもの
フラウス
まだ来ぬ未来に
怯えて暮らすのは
愚かだと
思わんかね？
あんたが何を
心配しているのか
私には
わからんさ
ファリスの神官に
お説教でも
あるまいが…
そうね…

ベルド…
トポトポ
おい！
酒だ！
酒はもう
ないのか!?
ひとたび経て
再びは来ぬ
鏡の森の小径の
果てに
昼なお昏々と睡る
黄金の樹
その夢を
我らに給え
太陽の力
月の魔法に
育まれた恵みの夢を

さあ　みんな
聴いてくれ！
村一番の
八弦琴の名手
マリエルが
歌うぞ！
失礼な
人たち
フラウス
…か？
いざ　さらば
我らに給え
昼と夜が
その生涯をもって
紡ぎだした恵みの
夢を

おい！
酒だ！
酒はもう ないのか!?
トポ トポ
ベルド…
フラウス …か？
失礼な 人たち
さあ みんな 聴いてくれ！
村一番の 八弦琴の名手
マリエルが 歌うぞ！
ひとたび経て 再びは来ぬ 鏡の森の小径の 果てに
昼なお昏々と睡る 黄金の樹
その夢を 我らに給え
太陽の力 月の魔法に 育まれた恵みの夢を
昼と夜が その生涯をもって 紡ぎだした恵みの 夢を
いざ さらば 我らに給え

うわ!!
ビュオオオ
ズヤ〜ッ!!
何だ!?
まさか…
風の精霊(シルフ)?
…お!
鏡の森の
エルフじゃ
ねえか!
こッ
こいつァ

バルキリー
…?
バ…
お願い
助け…て
…黄金樹を
森を

ハイランド公国
—オーバークリフ城
魔術師！

ハイランド公国
オーバークリフ城
魔術師！

宮廷魔術師は どこか!?
殿下
これに控え おります
竜が騒ぐ!
何事か!?
申し訳 ございません
詳しいことは何も ……
ただ かように 竜が怯えるなど 人倫に関わることでは ありますまい
とはいえ ただごととも 思われぬ
御意

弓や剣を取る間も
ありませんでした…
兵を数名
お貸し下さい
この目で
確かめて
参りましょう
ほどに
何ほどのことも
なければ
よろしゅう
ございますが…

鏡の森のエルフにゃ精霊使いも戦士もいたはずじゃねえか
だ…だけど
森やその周りの洞穴から魔神の大軍が現れて…
まるで黒い疾風…
星のない夜空が舞い降りてきたようだった
黒い翼の魔神と黒い髪の少女……
戦士たちは勇敢に立ち向かっていったけれど…

永い寿命を
持っているはずの
私たちエルフが
見る間に
生命を吸い取られて
……
生き残ったのは
ほんのわずか
…でも　どこに
逃げたのか
逃げおおせたのかどうかも
わからない
うかつ
だったよ
奴らが
狙わない訳は
なかったんだ
鏡の森の黄金樹は
太古からロードスに
豊かな緑を
育んできた
大地母神の
化身とさえ
言われてきた
その樹を
…魔神が
放っておく訳は
なかった

見るがいい
この有様を
黄金樹はすでに
魔神の瘴気に
冒されている
もう
樹々は花をつけず
実も結ばん……
魔神どもの侵攻は
ここまで進んで来て
いたんだ

フッ!
…しまった

そうか…
お前が…？

ウォート？
何の笑みだ？
この世に出られて嬉しいか？
それとも私を嘲笑っているのかね？
見逃す訳にはいかん！
許さんよ
お前だけは
ボッ
ボム
ボッ
宙空の住者星々の子らよ！
おいウォート！
マナはこの地に汝らを招かん！

疾く集い来たりて
我が敵を…
ギャア

バサァッ!

俺たちを巻きぞえに
するつもり
だったのか？
ガッ

…すまん
誰か馬を貸してくれ！
行くぞファーン！
ま…待てベルド！
さっきのザマじゃ連れて行く訳にゃいかんな
森の様子を見てくるだけだ
心配はいらん
…うむ

To Kanae Suzuki and all my fans. Thank you so much for all your support.

To Kanae Suzuki and all my fans, Thank you so much for all your support.

ファイロ！
リック！
ヤコポ！
おウ！
おッ…
ガチャガチャガチャガチャ
いいか？
村の平和は
俺たち村の若者の手で
守らねばなんねえ！
しかし…だ
事はひとつ
俺たちの村だけに
関わるこっちゃねえ
領地争いに
明け暮れてる
ここいらの王様方は
あてにゃならんが
必ずお会いして
軍隊に来て
もらえるよう
お願い
するんだ！
頼んだぞ！
マイセン竜太子様なら
きっと俺たちのために
兵を出して下さる！
じゃん！
まッ
まかしとけっ
てんだ！

マリエル？
リック…
これ…
私が作った の
…お守り袋
ずっと前
父さんがヴァリスへ
行った時に買った
ファリス神殿の
護符が入ってるわ
あ…
ありがとう
気をつけてね
途中の街道には
ゴブリンや狼も
いるし
はぐれの傭兵や
山賊も出るわ
きっと無事で
帰って来て
ああ
もッ
もちろん
だとも！
もし
か…帰れたら
俺…
ゾイック!!

だから
戻ってから
誰が…
マリエルと
…その…
は別の話だ！
う…
うん
なぁ？
俺たちゃァ
村の英雄だぞ！
生きて帰るに
決まってらァ
俺たち
三人ともな！
行って来る
ゼェ！
そ…
それじゃあ
村のみんな

魔神や寸土を争う国の兵士たち
そんな者たちに追われて流浪の旅に出た民
老人や子供の骸
力が満ちて来る…

私が見て来たのは
そんなものばかり
だったけど…
今は
わかる
私は
あの人たちのために
戦っている
気分は
どうだね？
エルフの
お嬢さん
エンディカ…
エンディカ？

そういう名前です
魔術師様
ウォートでいいよ
カタ!
ウォート
さっきの黒髪の少女は？
安心しなさい
もう行ってしまった
あの時のあなたの怒り…
凄まじい怒りの力だった
精霊界で怒りの精霊が感応して動揺していたわ
あなたはご存知なのね？あの少女のこと…

ずっと昔のことだ
若い魔術師と
野心を抱いた
小さな国の王がいた
若い魔術師は
古代魔法の全てを
究めたいと願い
また王は
いつか自分の知り得る
全ての土地の王たらんと
願っていた
やがて二人は
最極の古代魔法が
秘められている
遺跡で出会った
昔なじみ
だよ

昔なじみ
だよ

ずっと昔のことだ

若い魔術師と
野心を抱いた
小さな国の王がいた

若い魔術師は
古代魔法の全てを
究めたいと願い

また王は
いつか自分の知り得る
全ての土地の王たらんと
願っていた

やがて二人は
最極の古代魔法が
秘められている
遺跡で出会った

そこには
魔術師にとって
召喚魔法の極理が

征服者にとっては
最強の力が
眠っている筈だった

王は魔術師に
研究の援助を
申し出た

魔術師は
王の城に住まい
夜を日についで
究理に没頭した

ある日
魔術師は
取り返しのつかない
過ちを犯した

研究の成果を
その文書を
魔法でくくって
隠しておくことを
怠ったのだ

文書は
王に盗まれ

昔話だ…
ウォート…
魔神王と
その眷族は
解き放たれた…

昔話だ…
ウォート…
魔神王(デーモンロード)と
その眷族(けんぞく)は
解き放たれた

ハ!

どうした？
ここが…
止まれ…
鏡の
…森？
何か聞こえる

エルフの
生き残りか!?

後で嫌味を言われるのがオチだ！
手を貸そう！
よせよせ！
誇り高きエルフの皆様だぞ！
助太刀する！
見捨ててはおけん！
やれやれおせっかいな奴だ
おひとよしも馬鹿のうちと言うぞ

人間の
助けなど…
余計なことを！
お前たちは
…!?
一緒に戦い
ます！

無駄口を
叩いているひまが
あったら
一匹でも
殺せ！
潔く死にたいと
言うんなら
話は別だがな！
まッ
待ってくれ
ファイロ！
ヤコポ！
俺…
もうだめだ

休んで
いこうや…
少し…
夜明けまでにゃ
ドラゴン・スケールに
たどり着くんだ
急げ！
なァに弱音
はいてやがる！
おッ…
おう!!
村の平和は
俺たちに
かかってんだぞ！

ファーンよ
ちっとばかり数が多過ぎると思わんか？
同感だ
待て！我らは退かん！
退くぞフラウス
ええ！

我らエルフに
森を捨て
どこに生きよと
申されるか!?
やむを得ん
ひとたびは
森の外へ
逃れよう
族長…
縁なる王の
同胞よ
ドライアード
そのからみ合う
腕もて
我が楯と化せ!

ベルド
私たちも！
ああ
怪我人と
婦人は
馬へ！
ちッ！
腐れ果てて
やがる！
邪悪の干渉が
勝っているのだ
ここでの
精霊魔法は
保たぬ！
言葉は神聖なる
御業を得て
異類の隔てを
越え
心より心に
入らん！
あなた方は先へ！
後衛は
引き受けた！
急いで！
この人たちを
森の外の
安全な場所へ！
私の言うことが
わかる？

近づいて
来る
どうしたね？
エンディカ
もの凄く
大きな魂が…
フラウスたち
…？
いえ
フラウスとは
違った感じ
鋼のような
意志
静かな森に
差し込む
陽の光みたいな
暖かさと
そして
大勢の人々…
みんな
無事か？

幾手かに
分かれたところで
逃げおおせるほどの
戦力も残ってはいない
ここで
迎え討つしかあるまいな
村へは
帰れない
すぐ追手が
かかるわ
さて…
これから
どうする？
人間たちよ
絶望的な
特攻か…
どうも好かん
やり方だ
痛むか？
ん？
ひとまずは
礼を言っておこう
これよりは
我らエルフの戦いだ
早々に去るがいい
手遅れだよ
馬鹿野郎

借りるぐらい
罰は当たらん
だろう
ヴァリスの
至宝だ
王の許しが
なければ
触れることも
叶わない
傷だ
せっかく
奪い返したものを
なぜ使わん？
あれは
私の物では
ない
聖なる武具か？
ああ
…いや
すまん
大丈夫だ
なら魔将と
やり合った時
なぜ剣を
投げて
よこした？
わからん…
とっさのことだ
そうしなければ
と思った

来たぞ!!
チィッ!
貴様なんぞ放っといてさっさと逃げればよかった
まったくだ
なぜ　そうしなかった!?

とっさのことだ！
わからん！

ニース…
フレーベ!?
何だ!?

大地母神の御恵みは我らにあり！
この一戦をマーファに捧げよ！
ドォオ!!
エ・ファー・ミ・ム・デ・マーファ!!

RAIDEN
FLAIM
ALANIA
VALIS
KANON
MOSS
MARMO
ロードス島 北東部
——アラニア
なぁに寝ボケたこと
言ってやがる
さっさと帰ろ…
妙だな…
どうした？
道を間違える
はずは
ないんだが…
ここいらの景色は
こんなふうだったか
なあ？

RAIDEN
FLAIM
ALANIA
VALIS
KANON
MOSS
MARMO
ロードス島 南東部
カノン城 シャイニング・ヒル
おい？
勝手に持ち場を
離れるな
まだ交替の
時間じゃ
ないぞ！

おい！
どうし…
…た
ロードス島 北西部
自由都市 ライデン
RAIDEN
FLAIM
ALANIA
VALIS
KANON
MOSS
MARMO
遅いな
もうそろそろ
着いてもいいころ
なんだが…

なあに
のんびりやって
やがるのさ
お！
あれじゃ
ないのか？
おおい！
荷が着いた
ぞォ！
待て!!

左右翼形に展開して布陣！
負傷者を収容する！
戦車隊前へ！
ベルド！ファーン！
怪我人を隊の後方へ！
ええい人使いの荒い小娘だ！
神聖なる御名の遍く天地において
祝福されざるものよ！
汝の拠るべき世界へ疾く去れかし！

退けえェ!!
わっ!

囲まれ
ちまった！
駄目だよ
ゴッ
ゴブリンだ
ファイロ！
くそォ
道を変える
ぞ!!
どッ
どうする？
どうする
って…
や…
やるしきゃ
ねえだろォがァ!!

ファリスの神様
…マリエル！おいらを守っておくれよ！
陛下！
うおおおお!!
陛下
少しお休みになられませぬとお体に障りましょう
うむ

みなはどうだ？
疲れた者はあるか？
いえ
我らは…
ザラ
さよう
では もう少し辛抱してくれ
残された時は少ないのだ
残された時はあまりに短く魔軍の侵攻はあまりに速やかだ
ザ！
何者!?
名のる名は無い
そしてヴァリス神聖王陛下に仇なす者でもない

王よ
これより北西の
鏡の森が
魔神どもに占拠され
マーファ神官戦士団と
ドワーフ軍の連合が
戦をおこした
何？
急がれよ
ハイランドとの和平
諸王国との連合は
王の御計らいひとつに
かかっている
刺客とも
見えぬが
魔法戦士よ
そなたも言った通り
今はわしが身も
大事
オーバークリフ城
までの道のり
我が魔法が
楽な旅にして
さしあげられよう
非礼は承知だが
ファリスの御力を
いただき
そなたをあらため
させてもらうぞ
待て！

直しましょう
貸して
ちょうだい
リック
…？
リックという人
あなたの恋人？
鍬や鋤しか
持ったことのない
おとなしい人
なのに…
とても危ない
旅に出たの

わたしね
歌がうたえるのよ
とても勇気の出る歌
足もと遥かの
地の底より
かぐろき風は
吹き上がり
陽光をかぎる
雲となる
それこそは
魔のもの
忌まわしき爪と
牙もて
なべていぢらしき
生あるものを
葬らん
天荒れて地は裂け
四辺に人語は
絶えて無し
されど見よ
鈍色の空のもと
広漠たる海原より
波は無数に
立ち上がり
千古の岸壁を穿つ

万丈の巌すら
果ても絶えぬ小波に
食まれてやがては
崩れ去る
手に飛礫もて
矢をつがえよ
剣を揮え
かよわき春の微風も
やがては天上の
大風となり
鋼鉄の雲さえ
散じ消そう

万丈の巌すら
果ても絶えぬ小波に
食まれてやがては
崩れ去る
手に飛礫もて
矢をつがえよ
剣を揮え
かよわき春の微風も
やがては天上の
大風となり
鋼鉄の雲さえ
散じ消そう
手に飛礫もて
矢をつがえよ
剣を揮え
今しも
希望の妖精は
凍えた大地に
取り籠められし
希望の妖精は
戦う者の鬨の声に
こたえて
目を覚まさん
いざ
手に飛礫もて

戦う者の鬨の声に
こたえて
目を覚まさん
いざ
手に飛礫もて
凍えた大地に
取り籠められし
希望の妖精は
今しも
希望の妖精は
手に飛礫もて
矢をつがえよ
剣を揮え

ニース!!
遅くなりました！
他の方たちは？
無事だ ニース殿！

マナはこの地に
汝らを招かん
疾く集い来たりて
我が命を撃つ
礎となれ
何の音—？

あなた方も
お怪我を
なすっておいでの
様子
手当てを
お受けに
なって下さい
マーファの御神宣が
下されたのです
黄金樹を守り
ロードスを救えと
心強い仲間が
駆けつけてくれたのに
休んで見てろと
言うの？
ファリスの
神宣は…
とうに
下されていると
いうのにね
そぉれ！
エルフの
生き残りは
こいつで
最後だ

ファリス神殿
神官戦士長
フラウス殿です！
誰か
この方に
馬を！
む！

第二陣が
来るぞ！
投石用意!!
撃てェ！
シルフよ
風の舞姫たちよ

ふむ！
相変わらず
お上品な
精霊魔法だの
エルフの長よ
汝等の猛き
舞の輪に
取り籠められし者に
風の裁きは
下されん！

ドワーフの
血の気の多さも
変わっておらん
ようだが？
鉄の王よ
そうとも
わしは
勇敢な者が
好きだ
それがたとえ
エルフや人間で
あろうともな

貴辺等には
感じられんのか？
あの陰火を
凝らしたかのような
邪悪の気…
なッ…
何だ
あの娘は!?
あんな少女が
魔神の群れに？
惑わされる
な！

貴辺等には
感じられんのか？
あの陰火を
凝らしたかのような
邪悪の気…
なッ…
何だ
あの娘は!?
あんな少女が
魔神の群れに？
惑わされる
な！

魔神め！
正体を現すがいい!!
いけない
あれは…
一太刀浴びせてみれば分かること！

ドドッ
ザッ
ガッ
…は
ザ
ヴシュ!

P!
PP!

あれが…
魔神王(デモンロード)…
ズザア！

ま…
魔術師殿
オ・フローリン殿
これが金鱗(きんりん)の？
竜王だ

我が岩屋を訪いしは誰か？
ま…魔術師殿
オ・フローリン殿 これが金鱗の？
竜王だ

我が岩屋を訪いしは誰か？

もし汝ら 我が譲りし太守の秘宝を 奪わん者なれば
古の約定により その命 貰い受くるが如何？
竜が…
竜が何か 喋りましたぞ！
古竜は知慧ある ものだ 私たちよりはるかにな
金鱗の竜王よ
穏やかに 応じていただき 感謝する
心穏やかならず 眠りを破られしは 我ぞ
我らが 罷り越したのは 余の儀にあらず
永き眠りに 就いている筈の御辺が 何を騒ぎ知らすかと 麓の民は 心穏やかならず
安き眠りを 破られて おののいている

我ら古竜は
天地と等しくある
始源の巨人より
この世界を預かりたる
汝らが
真黒き者どもの
欲しいままに
すておくがゆえ
我が心は痛み
体は病んだ
もし我が眠りの
安らかなるを
願わば…
疾く疾く
かの魔神めらを
亡ぼしそうらえ

魔神どもが蘇る!?
なッ何だ これは!?
マーファは善き名なり!
星は天に 花は地に 死せる者は 土に還るべし!
き…効かん!
駄目だ!

ぎあァア!!
ごキげゅ!
屍使いが…！
何度蘇ったところで同じこと！
魔神の骸が幾万あろうと
文字通り土塊に変わるまでこの戦斧が微塵にしてくれる！
ニース
私たちは何をすべきかしら？

誰も正体を知っている者がなく
未だ目にしたこともない
そして瞬く間にエルフの森を滅ぼしたその魔神の王が目の前にあり
倒した筈の魔神の群れに取り囲まれた
それぞれの神に祈ること…？
かつて生身に神を降臨させて永らえた司祭はいないと聞くわ
人の心と体が神を容れるには脆すぎるのかしらね？
でも
やってみるべき時だと思うの
ではその役目
私が
フラウス
あなた…まさか？

誰も正体を知っている者がなく
未だ目にしたこともない
そして瞬く間にエルフの森を滅ぼしたその魔神の王が目の前にあり
倒した筈の魔神の群れに取り囲まれた
それぞれの神に祈ること…？
フラウス
あなた…まさか？
でも
やってみるべき時だと思うの
かつて生身に神を降臨させて永らえた司祭はいないと聞くわ
人の心と体が神を容れるには脆すぎるのかしらね？
ではその役目
私が
私たちに何ができると思って？
命を失うかもしれないのよ？
あなたにはやらせられない
魔神がこの世に現れてからずっと闘って来られたのでしょう？
マーファの神官戦士団はどうするの？
傷ついた黄金樹の癒しは？
もし誰よりも魔神たちを知っているあなたがいなくなったらこの後誰が指揮をとるのです？
あなたこそ生きねばなりませんフラウス
何だかよくわからん話だが
誰から先に死ぬかということなら
ザッ
俺たちにも直 順番は回って来るさ

何だかよく わからん話だが
誰から先に 死ぬかと いうことなら
俺たちにも 直順番は 回って来るさ
私たちに何が できると 思って？
魔神がこの世に 現れてから ずっと闘って 来られたのでしょう？
命を失うかも しれないのよ？
あなたには やらせられない
マーファの 神官戦士団は どうするの？
傷ついた 黄金樹の 癒しは？
もし誰よりも 魔神たちを知って いるあなたが いなくなったら この後誰が 指揮をとるのです？
あなたこそ 生きねば なりません フラウス

大丈夫
その昔マーファはファリスと共に暗黒の神々を調伏し
今もこのロードスの地に眠っておいでです私たち人間に最も親しき神としてね？
それにフラウス
お前はまだ俺とウォートを傭った金を払っちゃおらん
俺たちを騙した奴ァみんな地獄へ行ったぞ
ニース！
かつて神々の御代にファリスとマーファは共にありき！

マーファ降臨の
めでたき日に
我が大神は祝福を
惜しまず！
陛下！
うむ
この者どうやら
よこしまな心は
抱いておらぬ
様子
油断あそばされ
ますな
しかしまだ
疑わしき所が
ない訳では
ありません

魔法戦士よ
無礼の段は詫びよう
ファリスはそなたに悪心あらずと断じた
申し出の通り そなたの魔法力で 一刻も早く ハイランドに着くことができるなら どうか力を貸して貰いたい
承知
お待ちを！
どこかで争うような音が…

なめんなよォ!!
野良仕事で
鍛えぬかれた
農民を…
リック！
ヤコポ！
生きてっかァ!?
おゎ!
うおお!!
どけぇ!!
俺たちゃァどうでも
ハイランドへ
行かなきゃ
なんねえんだ！

案ずるな
我らは神聖王国
ヴァリスの
聖騎士だ
リック!!
見ろ見ろ
見ろ!
あ…
ああ
聖騎士だ!
マリエルのくれた
お守りが
効いたんだよ!
リック?
よ…
よかったなあ

こんなことって
ありかよォ
こッ…
こんなこと
エンディカ
じっとしている
訳には
いかんのだよ
ええ
フラウスたちが
苦戦している
ようだ
私は
行くよ
魔神どもとは
因縁が
あるからね
ベルドには
またこっぴどく
叱られる
だろうが

退け！
退けぇ！
生き残った者は
我がもとに
集え！
地に穣りをもたらし
天より慈雨を召すもの
善き哉
美しき哉
マーファの御名は
天また昏く
水は涸れ
この身は地に伏し
わななけり
御身の御手になる
花園にかよわき花は
もろげなる
うなじをかかげて
大地母神の名を
呼ぼう

わが胸底の
ふる歌は
すべもなき心のために
あがないし
ほめ歌
えしやよし
耳かす人は
あらずとも
そのひとふしの
あわれに愛でて
かえりたまえ—
急げ！
刻はない！
御魂
むかえまつる!!
マーファの愛児
ニース
急げ
女神が…
女神が
降臨される！

ゴゴゴ
大地母神を
フッ!
…呼んだか

マーファ…

偉大なるかな
大地母神
すずろかに
依り来たらん
ふたつなき
御身の御姿の
ザ!
その荘厳の
きわみの前に
こころたえ
うなじたれ
つつしみて

我とひとと
御身がほめ歌
うたいつぎぬ

見ろ
魔神どもが…
大地母神の懐に
呑みこまれてゆく
ニース様！

キャア!!
ファリスは
偉大なり！
御身の
聖なる左手は
邪悪なる
刃の前に
不壊の楯たらん!!

ベルド…

我ヲ讃エヨ
！
我ガ名ハ
全キ魂ノ自由
得難キモノニシテ
汝ニ親シキモノ
ナリ

フッ…
待て
ファーン!!
普通の剣では
歯がたたん
魔法の武器が
あったところで
このままで奴は
倒せんよ

ウォート
ああ
そこにいるのかウォート？
魔法で俺を
呪縛しろ
寸毫も動くこと能わじ
奇跡の源
魔術の根源たる
マナは
見えざる磐石となりて
汝を塞ぎぬ
名もなき狂気の神に
魅入られたな

「名もなき狂気の神」…？
ダークエルフの中にもその神に仕える闇司祭がまれにある
神代の昔に相討ちして果てた筈のマーファが
司祭の身を依代にしてその力が揮えるなら暗黒神とて同じこと
酷いものだ
我らエルフの森の犠牲者も大方は…
あの魔剣に魂を打ち砕かれた仲間の手に掛かった

神々の戦が
再び人の世に
繰り返されよう
とは…
この男でなければ
即座に廃人に
なり果てるか…
さもなくば
自らが狂い死に
するまで
殺戮の限りを
尽くしていたろう
あの黒き娘
やはり暗黒神の
祝福を
受けたものか

《初出》
「㊙PCエンジン」1991年6月号～1992年9月号掲載
「コミックニュータイプ」1996年夏号・秋号掲載

ニュータイプ100%コミックス

ファリスの聖女

ロードス島戦記　ファリスの聖女Ⅰ〈新装版〉

著者──作画／山田章博　原作／水野　良

2001年11月1日初版発行

発行人──井上伸一郎

発行所──株式会社角川書店
〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3
営業 03(3238)8530　編集 03(3238)8563
振替 00130-9-195208

装幀・デザイン──BE-ENTO
印刷所──凸版印刷株式会社
製本所──本間製本株式会社

落丁、乱丁本はご面倒でも小社営業部受注センター読者係宛に
お送りください。送料は小社負担でお取り替えいたします。
この物語はフィクションであり、実在の人物、団体名とは
関係がございません。

Printed in Japan
ISBN4-04-853418-1 C0979

「ファリスの聖女」を語る

山田章博

僕が「ロードス島戦記」という作品と出会ったのは、「野性時代」の誌上、OVAの紹介記事でした。日本でもこういう本格的なファンタジーを作るようになったのかと思い、興味深く読みました。そのあと小説を読んで、これはありがちなものとは違うなと。

そして「ロードス島戦記」のゲームのPCエンジン版が出るころに、「㊙PCエンジン」でコミックをとの話になりました。どんな話にしようかと打ち合わせをしまして、伝説の魔神戦争の時代はどうだろうということに落ち着きました。30年後、パーンたちの時代をにらみながら、自分でキャラクターを起こしてゆく、そんな作業がおもしろそうだったし、戦う相手が人間でなく、すべて魔神たちというのも魅力でした。

元々ファンタジーは好きなのですが、国産のものはほとんど読んでいませんでした。僕にとってのファンタジー原体験は、子供のころに読んだイングランド民話です。クリスマスプレゼントに貰った「オクスフォード版世界の民話シリーズ――イングランドの民話」、相当読み込みましてもうボロボロになってしまっています。これに載っている「森の小鬼トム・チット・トット」「英雄ジョニー・グローク」「かぎ煙草入れの小人」など、コミックにも要素として取り入れています。

イングランド民話を読みますと、断崖絶壁、

打ち寄せる波、内陸部の森、そこに英雄がいて魔物がいてという風景が浮かんできます。それとロードス島の風景が、僕のなかで重なりました。〝島の風景〟と言いましょうか。ですからブリテン島統一の英雄「アーサー王伝説」にも惹かれました。小学校低学年のころ、ディズニー映画の「王様と剣」を観たのですが、あのエクスカリバーをアーサーが金床から引き抜くシーンが印象的で、その場面を絵に描いて映画館に送ったところ、上映期間中ロビーに貼り出してくれました。晴れがましい思いをしましたよ。ディズニー映画のなかでもさほどメジャーでない「王様と剣」の原話に興味を持った僕が、「ロードス島戦記　ファリスの聖女」のコミックを手がけることになったのは、自然な成り行きかもしれません。

長じて出会うファンタジー作品としては、トールキンの「指輪物語」を挙げるべきなのでしょうが、残念ながら僕の場合はそうではありませんでした。1960〜70年代の、プログレッシブ・ロック全盛のとき、その後期に出会った一枚のレコード、マンダラ・バンドの「The Eye of Wender」がファンタジー世界を音として聞かせてくれたのです。それまでも「ルネッサンス」や「グリフォン」「ジェスロ・タル」（無論シンフォニック・ロックの古典、リック・ウェイクマンの「アーサー王と円卓の騎士」も挙げるべきでしょうが）などを聞いては、まだ見ぬおとぎ話の風景に想いを馳せていたのですが、「The Eye of Wender」は、僕のファンタジー嗜好を決定的なものにしました。

マンダラ・バンドは、イギリス人デビッド・ロールを中心にムーディー・ブルースのジャスティン・ヘイワードや10ccのメンバーで構成されたコンセプト・アルバムのためのユニットです。「The Eye of Wender」では、デビッド・ロールが書き下ろした、魔法と怪物と英雄譚に彩られた少年の冒険物語が、組曲形式の音楽で綴られます。一曲目、アイリッシュパイプの滔々たる音色を耳にしたとたん、僕は「あの世界の音だ」と思いました。子供のころから憧れていた、〝島の風景〟の音がそこにあったのです。

これ以降「ペンタングル」や「メリー・ホプキン」現在では「エンヤ」、「メリー・ブラック」などのイングランドやアイルランドのトラッドに傾倒してゆくことになります。その影響は「ファリスの聖女」の後半に顕著に現れています。魔神戦争が「ロードス島戦記」に初めて登場するのは、吟遊詩人の歌としてなのですから。読者には最初から伝説として知らされています。魔神戦争は古謡として語られるべきものじゃないか、と思ったのです。常に音楽が聞こえ、伝説の綴れ織りのように謡い継がれてゆく——これが「ファリスの聖

女」のコンセプトとなりました。

打ち合わせのときに、水野さんからロードス島はヨーロッパの中世よりはちょっと古代の趣を残した、映画「ハイランダー」あたりのイメージがあるとうかがいました。「ハイランダー」の舞台はイングランドですから、僕の持っている〝島の風景〟を投影していいんだなと思いました。とくにベルドには、そのイメージをかなり担わせてます。30年後には暗黒皇帝らしく、きっちりと鎧をまとうのはわかっているのですが、若くてまだ地位もなくて、呪的な文様をつけて戦う戦士です、いまは。うちのアシスタントにも人気があります。

対照的なのがファーン。そんなにハンサムだったかはわかりませんが、女子供に「騎士さま、騎士さま」と慕われるような清廉潔白な男です。六英雄のなかで騎士はファーンひとりですから、かなり極端に騎士らしさを出しています。

さらにキャラクターの話を続けますが、主役のフラウス。主役らしくいちばんまめに服を着替えています(笑)。小説の1巻で謡われる六英雄のサーガに、彼女は出てきてないんです。水野さんにうかがいますと、長大なサーガなのでたまたまそこに出ていないだけで、伝説の聖女として後段に登場すると。彼女についてはファーン、ウォート、フレーベらの口からもなにも語られていません。そしてそのあとベルドはマーモに渡り、英雄戦争に突入してゆく。それだけしかデータがないんです。ただし誰もが語らないというのは、あの時をともに経験した者以外には伝えられないほどの想いがあるのではないかと。水野さんに相談したわけではなく、すでに僕の独断なのですけれど、中盤からフラウスは完全にベルドに感情移入してしまう。お互いの気持ちを理解しているのかは別ですが。ふたりとも鈍感だろうし、あくまでフラウスの目的は、ベルドのような強い男がファリス神殿に入ってくれることだと、信仰にすりかえている部分はあるかもしれません。これからフラウスはかなりベルドの影響を濃くしてゆきます。そして伝説の聖女へと昇華します。ラストシーンは、まだ考慮中なんです。一幅の絵としてのクライマックスは頭の中にあるのですが。

僕はこのロードスでは絵柄を変えました。「ファリスの聖女」のために絵柄を作ったわけです。しかもいままでいちばん長い連載。これでもつのかなと思いました。それにだんだん描き込みが増えてゆく。最初は描線、ニュアンスを出す線は筆でした。途中からミリペンを使うようになって、同時に僕の中で世界がかたまってきて物語も進んでいくにつれ、1コマの情報量を増やさざるをえなくなりました。するととうぜん描き込みが増えて、自

分の首を絞めるはめになります。

コミックですから、呪文もちゃんと唱えさせたい。日常とはちがう古代語の雰囲気も出したい。戦闘のときに魔法使いが呪文を詠唱する時間、それで1コマとるわけです。そのタイムラグとアクションのバランスをどうとるか。現代のビルが建ってたり、車が走っている世界じゃない。石と木の世界で、荒涼たる大地に雷鳴が轟き、暗い雲がもくもくとわきたち、竜が飛ぶ。そういうマテリアルな質感を大事にしたいです。魔神たちにはあえて人語を喋らせていません。魔神の意志伝達は行動のみ、という枷を作ってあります。絵の威力でそこを伝えたいです。魔神は喋らない、人間とは異質なものである、ひいてはそんな魔神たちと戦った六英雄は後の世に英雄と呼ばれる人たちとどこかちがう部分があるのでは、ということも。

とにかく一生懸命で、連載だということを後半にはほとんど忘れてましたね。途中から読んだらわからないだろうなと思いながら、描いてました。日本の漫画としてはあまり馴染みのない絵柄だし、でもアメリカやフランスのコミックみたいにはしたくありませんでした。あくまで日本の読者向けです。まあ、英訳すればそのまま海外に出せるよとか、絵が気持ちが悪いとか、さまざまな反響があります。たしかに人によっては、そうでしょうね。僕自身はこの絵柄が気に入っているし、ロードスという世界からの要求があって生まれた絵だと思います。他のコミックには使えない絵。正統ファンタジー世界の、武器屋さんが板金をとんてんかんとやって作ったような世界を表現するための絵です。これはもうロードスのために生まれて、ロードスのために死んでゆく絵柄だと思います。僕がこの絵でコミックを描くのはたぶんこれきりになるでしょう。

国産ファンタジーの金字塔である「ロードス島戦記」にふさわしいコミックをやらなくちゃいけないと思っています。

完結編のII巻は、描き下ろしがたくさん入ります。問題の、フラウスが伝説の聖女へと昇華してゆくシーンもあるわけですから、力が入ります。フラウス、ベルド、ファーンたちの青春と戦いを描き出したいと思っています。

少々時間がかかるかと思いますが、がんばりますので、よろしくお願いします。

山田章博(談)